

《担当者名》下山 美由紀 m_shimoyama@hoku-iryō-u.ac.jp

【概要】

睡眠の生理を理解し、睡眠が生活全般に及ぼす影響について理解するとともに、安眠を図るための援助について学ぶ。利用者の尊厳を保持しながら行う人生の最終段階における介護のあり方について学ぶ。

【学修目標】

1. 睡眠が生活リズムに及ぼす影響について理解し、安眠を図るための援助方法を修得する。
2. 終末期の心身状態を理解し、QOLを高める身体・生活援助と人生の最終段階にある利用者へ共感し、家族を含めた精神的サポートのあり方を考察する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 休息・睡眠の意義と目的	この科目の概要とスケジュール等を確認する。 自立支援を支える睡眠の介護の必要性について理解し、説明することができる。	下山
2	休息・睡眠の意義と目的	概日リズムと睡眠障害について理解し、説明することができる。	下山
3	睡眠における介護	安眠を促すための環境づくりについて理解し、説明することができる。	下山
4	睡眠における介護	睡眠と薬の関係について理解し、説明することができる。	下山
5	睡眠における介護	睡眠におけるアセスメントについて理解し説明することができる。 ICF整理シートを用いて事例の支援方法を見出す。 (グループ演習)	下山
6	睡眠における介護技術	病気に関連した睡眠について理解し、説明することができる。 心地よい睡眠を促すためのベッドメイキングの技術を修得する。(実習室にて実技)	下山
7	睡眠における多職種連携 人生の最終段階における介護	睡眠における介護職の役割と多職種連携の実際について理解し、説明することができる。 人生の最終段階における介護について理解し、説明することができる。 死に対する心理を理解し、終末期ケアの事例から、尊厳死を支える介護職・医療職の役割について理解し、説明することができる。	下山
8	人生の最終段階における介護	人生の最終段階における介護について学び、アセスメントの視点や意思決定プロセスを理解し、説明することができる。	下山
9	人生の最終段階における介護	死を迎える人の介護について学び、死を迎える人の変化を知るとともに、死を迎える人のケアを理解し、説明することができる。	下山
10	人生の最終段階における介護技術	死が近づいたときの介護の実際について学び、観察ポイントや介護ケアを理解し、説明することができる。	下山
11	人生の最終段階における介護技術	死を迎えた人の介護ケアの実際について理解する。 ・死後のケアの模擬実践(介護実習室で実技)を行う。	下山
12	人生の最終段階における介護技術	人生の最終段階に関する家族及び介護職への支援の実	下山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		際について理解し、説明することができる。 人生の最終段階の介護における他職種の役割と協働について理解し、説明することができる。	
13	人生の最終段階における介護技術	死を「看とる」場所の変化や在宅と施設での「看とり」について理解し、説明することができる。	下山
14	人生の最終段階における医療・介護	緩和ケアについての定義と全人的苦痛や、人生の最終段階にある人への尊厳について理解し、説明することができる。	下山
15	人生の最終段階における介護の理解	文献を抄読し、終末期介護についてレポートを作成する。	下山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験80% レポート20%

【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編集 最新 介護福祉士養成講座7 生活支援技術 中央法規

【参考書】

後藤 真澄他編 「生活支援技術」 建帛社

介護福祉士養成講座編集委員会編集 新・介護福祉士養成講座7 生活支援技術 中央法規

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「生活支援技術」に該当する。

【学修の準備】

指定した教科書の「生活支援技術」の「睡眠の介護」と「人生の最終段階における介護」をシラバスにそって、事前に読んでおくこと（30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP 2、1、3、4

【実務経験】

看護師

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、睡眠、終末期の支援について実践的な内容を講義する。